

Title: 「明日は明日の風が吹く」



志村 賢一
1987年生まれです。
いつも失敗ばかりし
ている私ですが、海
外でもたくさん失敗
して行きたいと思っ
ます。

● 最近のエントリー

動物的感觉
(2010.02.10)

● アーカイブ

- ☐ 2010年03月
- ☐ 2010年02月
- ☐ 2009年09月
- ☐ 2009年08月
- ☐ 2009年07月
- ☐ 2009年06月
- ☐ 2009年05月
- ☐ 2009年04月
- ☐ 2009年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

明日は明日の風が吹く > 2010年02月 アーカイブ

10.02.10

動物的感觉

[Tweet](#)[Check](#)

地平線まで広がる青い空。青いキャンバスには、美しいバランスで白い雲が存在している。茶色に濁った川を、船で進んで行く。上っているのか、下っているかわからない。ただ、どこかへ向かって進んで行く。途中、所々に丸太の一本橋がかかっている。非常に簡単な作りである。人々の生活を感じとる事が出来る。そこに住んでいる彼らは、いとも簡単に橋を渡って行く。

僕は、一本橋から落ちそうになった事が何度かあった。首にカメラをぶらさげた状態で。落ちたら終わりである。

この地区に住んでいるベトナム人、特に男性は動物的感觉が強いと思う。体の筋肉には無駄な物がいっさいついておらず、奇麗に腹筋が八個に割れている。特別に鍛えてはいない。僕は、スポーツクラブに2年ほどつとめていたが、この地のベトナム人のような人はいない。

五感がとても鋭い。風の向きで雨を予知したり、ちょっとしたエンジン音で船が来た事がわかったり。

道具が無い中、どうやったら便利になるか工夫してみたり。使える感覚は総動員している。そんな彼らがうらやましくなった。

日本に帰ってきた僕は、動物的感觉を少しでも取り戻すため、毎日、25キロほど自転車に乗っている。耳に神経を集中させ、トラックか乗用車かを聞き分ける。視覚的情報を瞬時に判断する。まあ、それぐらいしか出来ないが、やらないよりましである。

いろいろ考えていたら、先日、タクシーと衝突した。衝突した瞬間の記憶がない。衝突後の記憶はある。第一声は、

『痛ってー』

路肩のガードレールにもたれかかり、左手は植木の中に埋まっている。

『ふざけんなー、くそー』
と心の中で言ってみる。
なんで倒れてるんだ。
どうやら、タクシーの乗客が降りた時に開いたドアと衝突したようである。

『キヤー』
と、30代の乗客していた女が逃げて行く。

おいおい、『大丈夫ですか』ぐらい言ったらどうなの。
人間は、こういう時に、真価が問われると思う。

動物的感觉はまだ鍛えられてないが、人間的憎悪は健在である。

タクシーの運ちゃんが、すぐに駆けつけて来て、
『大丈夫ですか？私の注意不足でごめんなさい。』と謝ってきたので、許してやった。チャリも壊れてないし、怪我もしていない。大げがをしなかっただけ、少しは動物的感觉があっかもれない。

あの地に居たベトナム人だったら、タクシーと衝突しなかったかもしれない。茶色に濁った川に、ボツン、ボツンと、水面からわずかに出ている棒を見て。この川のどこに網

がかかっていて、どこを通れば、網がモーターに絡まらないかを、瞬時に判断する能力。本人は意識していないのかもしれないが、相当な能力である。

タクシーを後ろから見る。ガラス越しに乗客がいるのがわかる。しかし、ハザードランプは点滅していない。

予測が足りなかった。まだまだである。

動物的感覚が磨かれる日は来るのであろうか。

カテゴリ：

post by 志村 賢一 | 日時: 2010.02.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)